

## 海外安全対策情報

### 海外安全対策情報 平成27年度第3四半期(平成27年10月～12月)

#### 1 社会・治安情勢

サンパウロの治安は依然として回復の兆しを見せず、サンパウロ市及び周辺の都市においては、拳銃を使用した強盗事件や強盗殺人事件などの凶悪事件が昼夜を問わず多発している。また、パウリスタ大通りを中心に、様々な目的を掲げるデモが継続的に発生している。

#### 2 一般犯罪・凶悪事件の傾向

(1)サンパウロ州保安局が公表した犯罪統計によると、今期は前年同期と比べ、殺人の発生件数は減少しているものの、強盗や誘拐については増加している。邦人被害が多発している強盗事件は昼夜間を問わず発生しており、そのほとんどが拳銃を使用したものであり、細心の注意が必要である。

##### (2)邦人被害

ア 10月11日午前10時30分頃、サンパウロ市パライゾ地区マヌエウ・ダ・ノブレガ通り所在のアパートにおいて、邦人居住者が所要のため地階と自室を往来した後、自室に戻ると複数名の賊が室内に侵入しており、そのうちの一人が指で拳銃を構える仕草をしながら現金及び宝石類を全て出すよう指示してきた。

その後、自室に戻ってきた家族も身柄を拘束され、携帯電話を奪われた。その後、自室にあったネクタイで手首を縛られ、賊の指示に従い家族そろってトイレに留まっていたところ、物音がしなくなったことから午前11時10分頃にトイレから出てみると、賊は既に逃走していたもの。

イ 10月19日午前1時30分頃、サントス市ジェネラル・フランシスコ・グリセーリオ街において、邦人が知人とバス停にいたところ、二人組の賊が背後から近づき、邦人に対し携帯電話を差し出すよう要求した後、賊の1人が邦人に向け発砲した。邦人は死亡したが、賊は何も奪わずに逃走した。

ウ 10月24日午前2時頃、邦人3名がサンパウロ市ジャルジン・パウリスタ地区アラメーダ・ジョアキン・エウジェニオ・デ・リマ通りを徒歩にて帰宅途中、後方から進行してきた白色ピックアップ車の助手席から拳銃を所持した賊1名が降車し、邦人らを脅して現金や携帯電話等を奪って車両にて逃走した。

エ 11月上旬の午前5時頃、邦人がサンパウロ市郊外所在の企業に車両にて出社し、正門が開かなかったため裏口から入構しようとした際、門の陰からライフル銃で武装した二人組(賊の総数は不明)が現れ、邦人に向かって何かを叫んだことから、邦人が咄嗟にアクセルを踏み込み逃走を試みたところ、賊が2発発砲し、うち1発が邦人の車両に命中したため、邦人は車両を離れて茂みに身を隠した。賊らが邦人の姿を探しているのが見えたが、しばらくすると姿が見えなくなり、企業敷地内から爆発音がしたため、様子を見た後に警察に

通報した。

事後の捜査により、賊らは警備員を拘束の上、企業内に設置していた ATM を爆破し、在中現金を奪って逃走していたことが判明した

オ 11月末の午後10時頃、邦人がグアルーリョス国際空港からサンパウロ市内のホテルに向かう途中、借上車がパンクしたため、運転手が路肩に停車してタイヤ交換をしていた（邦人は車外で待機）ところ、賊がいきなりドアを開け、車内にあった鞆（旅券、携帯電話、デジタルカメラ等在中）を盗んで逃走した。

カ 12月末の午後8時頃、邦人がグアルーリョス国際空港に到着し、鞆とスーツケースをカートに載せ、構内に残したままターミナル入り口の喫煙場所に行った後、カートを置いていた場所に戻ったところ、鞆（旅券、ノートパソコン等在中）が盗まれていた。

キ 12月末の午後2時頃、邦人がサンパウロ市内のホテルからグアルーリョス国際空港に向かう途中、借上車がパンクしたため、運転手が最寄りのガソリンスタンドに車を停めてタイヤ交換をしようとした（邦人は車外で待機）ところ、賊がいきなりドアを開け、車内に置いてあった鞆（旅券、財布、携帯電話等在中）を盗んで逃走した。

### 3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ事件の発生は認知していないが、現金を目的とするATMの爆破はサンパウロ市内を中心に多数発生している。また、10月5日には、サンパウロ市パライゾ地区レオンシオ・デ・カルバーリョ通りにおいて、配線と時計が付いた不審なリュックサック（ガスシリンダーが在中）が発見されたことにより、州軍警察爆弾処理班が出動して処理した事案も発生している。

### 4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害は認知していないが、今期誘拐事件は、サンパウロ州内で9件発生している。

以上

在サンパウロ日本国総領事館

Av Paulista 854 Sao Paulo SP

TEL 3254-0100